



# 平成22年10月期 第2四半期決算短信

平成22年6月11日

上場取引所 大

上場会社名 小林産業株式会社

コード番号 8077 URL <http://www.kobayashi-metals.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井口 和郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松井 直樹

四半期報告書提出予定日 平成22年6月14日

配当支払開始予定日

TEL 06-6535-3690

平成22年7月15日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年10月期第2四半期の連結業績(平成21年11月1日～平成22年4月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年10月期第2四半期	7,612	△17.5	180	△42.1	283	△24.9	166	—
21年10月期第2四半期	9,223	—	312	—	377	—	△694	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年10月期第2四半期	5.97	—
21年10月期第2四半期	△24.92	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年10月期第2四半期	15,829	7,135	44.8	254.43
21年10月期	16,054	6,905	42.7	246.14

(参考) 自己資本 22年10月期第2四半期 7,092百万円 21年10月期 6,861百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年10月期	—	2.50	—	2.50	5.00
22年10月期	—	2.50	—	—	—
22年10月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年10月期の連結業績予想(平成21年11月1日～平成22年10月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	△11.8	200	△54.1	300	△29.9	200	—	7.17

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年10月期第2四半期	28,007,448株	21年10月期	28,007,448株
② 期末自己株式数	22年10月期第2四半期	130,684株	21年10月期	130,609株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年10月期第2四半期	27,876,797株	21年10月期第2四半期	27,878,016株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとする新興国の需要増加により、輸出関連企業の業績を中心に持ち直しつつあるものの、依然として円高やデフレの傾向が根強く残りました。これにより、多くの企業業績が低迷し、設備投資をはじめ国内需要や雇用が引き続いて低調であったため、景気回復は限定的で実感の乏しいものとなりました。

当企業集団の関連いたします建設業界におきましても、国内経済のデフレ傾向に起因した企業収益の圧迫や国内需要に対する設備過剰感から、民間設備投資が引き続いて低迷しました。さらに公共工事においても計画や実施の見直しが行われるなど低調に推移したこともあり、当企業集団を取り巻く環境は総じて厳しい状況のまま推移いたしました。

鋳螺部門においては、前連結会計年度よりネジおよびその関連商品の需要低迷が続くなか、ステンレス製品の主原料であるニッケルの相場が高騰いたしました。これに対して当企業集団は、取扱商品を適正な販売価格に引き上げることによって利益確保に努めました。また、多様化する顧客ニーズに対応するため、在庫アイテムを充実させ、物流拠点の機械化によって業務効率の改善を図りました。

次にコンクリート二次製品関連金物部門においては、全国展開をしていますコボックス株式会社を中心に、前年に引き続いて大手ゼネコンの取扱物件への営業活動をよりきめ細かくし、受注率の向上に努めました。しかしながら、昨今の景気低迷の影響を受けて取扱物件の規模が小型化していることに加え、ゼネコンによる見込み生産が行われなくなっていることから、営業活動は厳しいものとなりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、7,612百万円で、前年同四半期比1,611百万円、17.5%の減少となりました。利益面におきましては、一般管理費の削減を進めましたが、売上高の減少の影響を受け、営業利益は180百万円で、前年同四半期比131百万円、42.1%の減少となりました。経常利益は、デリバティブ評価益により283百万円で、前年同期比93百万円、24.9%の減少となりました。第2四半期純利益は、投資有価証券売却益により166百万円となりました。なお、前年同四半期は、遊休資産の減損処理により四半期純損失694百万円でありました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 財政状態の変動状況について

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて106百万円減少し9,888百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が242百万円減少および未収還付法人税等194百万円減少に対し、商品が317百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて118百万円減少し5,941百万円となりました。この主な要因は、土地の売買による292百万円減少および投資有価証券が185百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて490百万円減少し7,910百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金407百万円減少および短期借入金が100百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて36百万円増加し783百万円となりました。この主な要因は、繰延税金負債が69百万円増加に対し、退職給付引当金が17百万円の減少および長期未払金が12百万円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて230百万円増加し7,135百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が96百万円の増加およびその他有価証券評価差額金が124百万円増加したことによるものであります。

## (2) キャッシュ・フローの状況について

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローに係る支出151百万円、投資活動によるキャッシュ・フローに係る収入302百万円、財務活動によるキャッシュ・フローに係る支出169百万円となったこと等により、前連結会計年度末と比べ18百万円減少し、2,951百万円となりました。

## ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は、151百万円となりました（前年同四半期は632百万円収入）。主な要因は、売上債権の減少額254百万円に対し、たな卸資産の増加額317百万円および仕入債務の減少額407百万円によるものであります。

## ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、302百万円となりました（前年同四半期は125百万円収入）。主な要因は、有形固定資産の売却による収入460百万円に対し、有形固定資産の取得による支出196百万円によるものであります。

## ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、169百万円となりました（前年同四半期は197百万円支出）。主な要因は、短期借入金の返済による支出100百万円および配当金の支払額69百万円によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、国内の景気動向において輸出関連産業を中心に中国経済を牽引役とした持続的な景気回復が見込まれますが、根強いデフレの影響や、為替相場など不安材料は残されているため、経済全体が好転する環境は整っておらず、不安定な経済情勢が続くものと思われまます。以上のことから当企業集団は、平成22年10月期の業績予想を修正（平成22年5月28日公表）いたしました。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分し算定する方法によっております。

②たな卸資産については、当第2四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関し実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,951,360	2,969,523
受取手形及び売掛金	5,004,415	5,246,878
商品	1,720,048	1,402,441
その他	250,243	409,321
貸倒引当金	△37,451	△33,134
流動資産合計	9,888,617	9,995,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	944,692	972,925
機械装置及び運搬具(純額)	33,941	16,041
土地	2,256,302	2,548,302
その他(純額)	32,300	30,248
有形固定資産合計	3,267,236	3,567,517
無形固定資産	30,776	32,812
投資その他の資産		
投資有価証券	2,564,952	2,379,134
破産更生債権等	77,381	88,645
その他	82,016	83,604
貸倒引当金	△81,191	△92,455
投資その他の資産合計	2,643,158	2,458,929
固定資産合計	5,941,171	6,059,260
資産合計	15,829,789	16,054,290
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,846,596	4,253,839
短期借入金	2,000,000	2,100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,500,000	1,500,000
未払法人税等	176,686	—
賞与引当金	100,914	128,055
その他	286,021	418,991
流動負債合計	7,910,218	8,400,885
固定負債		
繰延税金負債	514,764	445,230
退職給付引当金	209,250	226,457
長期未払金	45,540	57,610
その他	14,181	18,341
固定負債合計	783,735	747,638
負債合計	8,693,953	9,148,524

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,712,335	2,712,335
資本剰余金	1,728,146	1,728,146
利益剰余金	1,935,180	1,838,580
自己株式	△24,466	△24,455
株主資本合計	6,351,196	6,254,607
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	747,888	623,470
繰延ヘッジ損益	7,489	△1,270
為替換算調整勘定	△13,908	△15,191
評価・換算差額等合計	741,469	607,008
少数株主持分	43,169	44,149
純資産合計	7,135,835	6,905,766
負債純資産合計	15,829,789	16,054,290

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年4月30日)
売上高	9,223,927	7,612,369
売上原価	7,178,482	5,779,447
売上総利益	2,045,444	1,832,922
販売費及び一般管理費	1,733,141	1,652,017
営業利益	312,303	180,905
営業外収益		
受取利息	218	152
受取配当金	52,108	32,445
受取賃貸料	16,024	20,704
デリバティブ評価益	60,590	75,757
助成金収入	8,001	—
その他	12,518	24,294
営業外収益合計	149,460	153,353
営業外費用		
支払利息	33,851	26,444
為替差損	28,951	16,362
その他	21,601	8,051
営業外費用合計	84,404	50,858
経常利益	377,360	283,400
特別利益		
投資有価証券売却益	—	20,924
ゴルフ会員権売却益	1,770	—
役員退職慰労引当金戻入額	10,830	—
特別利益合計	12,600	20,924
特別損失		
投資有価証券評価損	48,840	—
減損損失	976,841	—
特別損失合計	1,025,682	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△635,721	304,325
法人税、住民税及び事業税	84,428	176,557
法人税等調整額	△29,229	△38,646
法人税等合計	55,199	137,910
少数株主利益	3,917	122
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△694,839	166,291

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年4月30日)
売上高	4,257,786	3,750,738
売上原価	3,360,365	2,881,249
売上総利益	897,421	869,488
販売費及び一般管理費	811,390	801,271
営業利益	86,031	68,216
営業外収益		
受取利息	192	133
受取配当金	48,171	30,083
受取賃貸料	4,586	10,352
デリバティブ評価益	169,742	83,030
その他	10,205	17,204
営業外収益合計	232,897	140,803
営業外費用		
支払利息	16,243	13,441
為替差損	4,335	5,968
その他	11,244	4,006
営業外費用合計	31,823	23,416
経常利益	287,105	185,603
特別利益		
投資有価証券売却益	—	20,924
ゴルフ会員権売却益	150	—
特別利益合計	150	20,924
特別損失		
減損損失	976,841	—
特別損失合計	976,841	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△689,586	206,528
法人税、住民税及び事業税	81,507	151,171
法人税等調整額	△63,534	55,744
法人税等合計	17,973	206,915
少数株主利益	531	98
四半期純損失(△)	△708,090	△486

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△635,721	304,325
減価償却費	39,511	40,843
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△12,314	△17,207
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△63,020	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26,953	△6,947
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,000	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△58,868	△27,141
受取利息及び受取配当金	△52,326	△32,598
支払利息	33,851	26,444
持分法による投資損益(△は益)	4,936	—
減損損失	976,841	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△20,924
投資有価証券評価損益(△は益)	48,840	—
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	△1,770	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,367,706	254,823
たな卸資産の増減額(△は増加)	494,702	△317,607
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△33,535	9,383
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,981,124	△407,726
デリバティブ評価損益(△は益)	△60,590	△75,757
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△113,515	△53,622
預り保証金の増減額(△は減少)	1,000	—
負ののれん償却額	△4,160	△4,160
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△12,070
小計	900,487	△339,941
利息及び配当金の受取額	52,303	32,579
利息の支払額	△31,141	△30,961
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△289,338	186,564
営業活動によるキャッシュ・フロー	632,310	△151,759
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の売却による収入	—	38,346
投資有価証券の取得による支出	△608	—
有形固定資産の取得による支出	△16,370	△196,742
有形固定資産の売却による収入	—	460,000
無形固定資産の取得による支出	—	△1,498
長期前払費用の取得による支出	△350	—
関係会社の整理による収入	138,386	—
ゴルフ会員権の売却による収入	2,800	—
投資その他の資産の増減額(△は増加)	1,748	2,135
投資活動によるキャッシュ・フロー	125,605	302,240
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
自己株式の取得による支出	△237	△11
配当金の支払額	△97,575	△69,692
財務活動によるキャッシュ・フロー	△197,812	△169,703
現金及び現金同等物に係る換算差額	940	1,059
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	561,043	△18,162
現金及び現金同等物の期首残高	2,356,201	2,969,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,917,245	2,951,360

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

①事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年2月1日 至 平成21年4月30日)および当第2四半期連結会計期間(自 平成22年2月1日 至 平成22年4月30日)

鉄鋼材の卸売およびこれに附帯する事業を営む単一事業につき、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)および当第2四半期連結累計期間(自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日)

鉄鋼材の卸売およびこれに附帯する事業を営む単一事業につき、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

②所在地別セグメント情報

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年2月1日 至 平成21年4月30日)および当第2四半期連結会計期間(自 平成22年2月1日 至 平成22年4月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、記載しておりません。

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)および当第2四半期連結累計期間(自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、記載しておりません。

③海外売上高

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年2月1日 至 平成21年4月30日)および当第2四半期連結会計期間(自 平成22年2月1日 至 平成22年4月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高は記載しておりません。

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)および当第2四半期連結累計期間(自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高は記載しておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。